



# 地域のつながりっていいね!



去年の  
神明台町内会の  
納涼祭の様子だよ。  
楽しそうだしね!

### ウェブマガジン「はむらぐらし」編集後記 ～広がる「おいしい」の輪！ コーヒー豆専門店「豆香」が 提供する幸せの時間～

私たち「羽村市魅力発信市民記者」は、子育て世代を中心としたメンバーで活動しています。「魅力あるはむらの人、生活、自然と『出会う楽しみ』を増やすこと」を合言葉に、それぞれが紹介したいと思う人や場所などを取材し、記事にしています。この活動を通じて、地域に同世代の仲間を増やすことができたことをとても嬉しく感じています。

さて、今回私が書いた記事「広がる『おいしい』の輪！コーヒー豆専門店『豆香』が提供する幸せの時間」は、オーナーの藤巻小百合さん取材したものです。



▲ローストハウス豆香  
オーナー・藤巻小百合さん

私はもともとコーヒーが好きで、カフェなどでも飲みますが、本格的なコーヒーをもっと身近なものにしたいと思い、今年で25周年となる「ローストハウス豆香」を訪ねました。藤巻さんは気さくな方で話が弾み、気付け

羽村市は、さまざまな魅力にあふれていて、暮らしやすさや子育てのしやすさにつながっています。この魅力を大勢の方に知っていただくため、シティプロモーションの取組みの一つとして、市民が「羽村市魅力発信市民記者」となり、取材して書いた記事をウェブマガジン「はむらぐらし」に掲載し、発信しています。



▲市民記者「だい」こと伊藤大さん

けば取材も2時間を越えていました。

お話を聞く中で、インタビューの項目以外にもコーヒーに関するいろいろな知識を教えてください、どんどん関心を持つことができ、きつとお店や教室でもコーヒーの楽しさを広めているんだろうなと想像することができました。

藤巻さんのコーヒーに対する愛情や造詣の深さを書きましたのでぜひ読んでください。(市民記者 だい)



※羽村市魅力発信市民記者の記事は、市公式PRサイトの「はむらぐらし」で読むことができます。羽村市の魅力を再発見することができます。



愛情はむら

問合せ シティプロモーション推進課 ☎ 399

## 郷土博物館



## 収蔵品ファイル

その63

シリーズ いれもの⑩

ふかばちがたどき  
「深鉢形土器」

縄文時代に使われた土製の容器です。写真は約4000～5500年前のもので、黒いススの跡から、火にかけられていたことがわかります。深鉢形土器は本来、この写真でいうと上の細い方が底、下の幅が広い方が口の容器で、主に煮炊きや食物の貯蔵などに使われました。

また、この土器は住居内に写真のように逆さまに埋められた状態で出土しました。これは埋葬といひ、幼児の埋葬に使われたと考えられています。

問合せ 羽村市郷土博物館 ☎ 558-2561



▲このような上下逆の状態で見つかりました(市内 山根坂上遺跡出土)



市公式サイト



市公式PRサイト



Twitter



Facebook



YouTube



広報はむらは再生紙を使用しています